

# H29年度 第1回仁淀川地域アクションプランフォローアップ会議の概要

日時：9月4日（月）14:00～16:30

場所：すこやかセンター伊野 大会議室

## 1 議事等

### （1）産業振興計画関連 年間スケジュールについて

- ・H29年度のスケジュールを説明

### （2）地域アクションプランについて

#### 1) 第3期仁淀川地域アクションプランの進捗状況等について

- ・上半期の進捗状況等について説明

#### 2) 追加の案件について

- ・「酔鯨酒造株式会社新工場を核とした体験型観光等の推進による地域活性化」の追加について説明
- ・案について了承された

### （3）産業成長戦略について

#### 1) 移住促進の取り組みについて

- ・移住促進策の進捗状況等について説明

#### 2) 「志国高知 幕末維新博」の取り組み状況等について

- ・取り組み状況や第二幕の展開等について説明

## 2 意見交換

### <産業振興計画関連 年間スケジュールについて>

- ・特になし

### <地域アクションプランについて>

- ・(No.27 「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進) 流域での連携に関して、例えば、越知町では来年度オープンする川の駅に流域の特産品を置くことを検討しているが、各地域アクションプランの取り組みを流域の中でどうつなげていくのか、進捗状況についてもお聞かせいただきたい。

→観光分野では、仁淀ブルー観光協議会を中心に流域の市町村や観光協会などと連携して広域観光の推進に取り組んでおり、協議会関連のツアー客数が前年を上回るなどの成果を挙げている。また、高知新港へクルーズ船が寄航した際に流域の特産品を販売する取り組みも始まっている。お話のあった越知町での川の駅の取り組みに関しては、道の駅など流域の売れ筋商品等について調査を進めている。

- ・観光分野については地域ごとに計画があり、それをどう組み合わせていくかが課題となるので、共通認識を取りまとめていく必要がある。

### <産業成長戦略について>

#### (移住促進の取り組みについて)

- ・取り組みの成果として移住実績の説明があったが、移住3年後の定住率はどうなっているか。

→定住率については毎年アンケート調査を実施しており、H28年度の調査では87%であった。県の目標値である90%の達成に向けて取り組んでいく。

- ・ 県人会の方々は郷土愛があり、力になっていただけたらと思うが、どのような働きかけをしているのか。  
→関東県人会であれば、代表者に高知県移住推進協議会の委員に就任いただいているほか、東京事務所が県人会の会員と接触する中で意見交換等を行っている。
- ・ 製紙業界では人手不足が深刻化しているため、行政にも支援をお願いしたい。  
→新たに「高知県移住促進・人材確保センター」を立ち上げ、人材ニーズを掘り起こして首都圏に届ける取り組みを10月から開始するので、ぜひ求人情報をお寄せいただきたい。また移住を進めるためには、仕事に加えて暮らしも重要な要素となる。市町村とも連携しながら提案していきたいと考えているので、ご協力願いたい。

(「志国高知 幕末維新博」の取り組み状況等について)

- ・ 仁淀ブルーの知名度が浸透し、流域への観光客が増加しているのは実感するが、ツアープランを提供するなど、入込み客が地域にお金を落とすための仕組みづくりが必要であると考えます。
- ・ 維新博の今後の展開として、各エリアにいる幕末や明治に活躍した人物を掘り起こして自然や食につなげていく取り組みが必要ではないか。  
→歴史好きな方向けのガイドブックの作成や観光コースづくりなど、埋もれている史跡や偉人にスポットを当てることで、県内外の方々に足を運んでもらえるような工夫をしていきたい。
- ・ テレビ放映されている「土佐のむかし話」を県外へのPRに活用できないか。  
→経費面も含めて、検討させていただきたい。
- ・ 幕末維新博の第2幕の殖産興業に貢献した人物について選定基準はあるのか、また候補者について各自治体に問い合わせを行っているのか。  
→現時点では選定基準や選定方法は未定のため、決まりしだいご連絡する。選定した人物にどのような形でスポットを当てて誘客に結び付けていくのが課題であり、例えば企業の創始者であれば、地元での企業研修の呼びかけを検討している。

#### ■お問い合わせ先

高知県産業振興推進部計画推進課（地域産業担当）

電話 088-823-9334

FAX 088-823-9255

メール 120801@ken.pref.kochi.lg.jp